

令和7年第4回榛東村議会定例会 一般質問通告一覧表

受付順	質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
1	宮崎法文議員	1 ここ2年間の職員の採用・休職・退職・離職は	(1) 職員の採用基準は (2) 職員の休職・退職・離職の実態は (3) 中途採用のメリットデメリットは (4) 中途採用の職員に望むことは (5) 住民サービスへの職員の士気高揚の対策、研修等の実態は (6) 職員の配置転換、異動で成果は上がったか (7) 課の統合で住民サービスは向上したか (8) 職員のオーバーワークはないか (9) 職員組合の活動実態は	副村長
		2 職員のパワハラ・セクハラの対応は	(1) 職員のハラスメント、セクハラがあつた場合の対処は (2) 現在ハラスメントの実態はあるか (3) 執行として、事実の実態が出てくれば、とるべき手立てと対策は	副村長
2	清水健一議員	1 認知症対策について	(1) 認知症診断費用助成事業の利用状況は (2) 認知機能セルフチェックについて (3) ユマニチュード®について	担当所属長
		2 村民の健康づくりについて	(1) RSウイルスについて (2) RSウイルスワクチンの接種費用の助成について (3) ヒアリングフレイル®について	担当所属長
		3 幼稚園、こども園、保育園の給食費の無償化について	(1) 現在の給食費無償化の対象は (2) 幼稚園、こども園、保育園の給食費の無償化について	担当所属長
		4 渋川地区広域市町村圏振興整備組合の負担金について	(1) 現状について (2) 今後について	担当所属長

	5 村民の安心・安全について	(1) 樹木の安全対策の現状は (2) 倒木事故を防ぐ方法は	担当所属長
	6 高齢者の防災・安全対策について	(1) 現状は (2) 家具転倒事故防止器具、地震ブレーカー購入費用の助成について	担当所属長
3 波多野佐和子議員	1 来年度予算編成における重点施策と村の将来方針について	(1) 村としてどのような基本的な考え方・方針で臨もうとしているのか。特に重点を置く分野や柱となるテーマは (2) 移住定住を促進するための新たな施策や予算配分をどう考えているか (3) 高齢者・障害者支援の充実を踏まえた福祉分野においてどのような事業を重点的に位置づけるか (4) 厳しい財政状況の中、どのような財政運営の工夫を考えているか (5) 村から町への移行についてどう考えるか	村長 担当所属長
	2 障害者の就労支援と社会参加を支える取り組みについて	(1) 障害者優先調達推進法に基づく実績と成果について (2) 障害者の文化・芸術・スポーツ活動の発表の機会について (3) 障害者への理解を深めるための啓発・講習会について (D E T研修等) (4) 今後の取り組みと予算反映について (聴覚障害者の防災マニュアル作成等)	担当所属長
	3 学校給食への地元産米の活用と安定供給体制について	(1) 村内のコメの取引価格や出荷状況の現状を村はどのように把握しているか (2) 現在、村内の学校給食で地元産米がどの程度使われているか (3) 村内の学校給食で地元産米の買い取り価格は適正か (4) 契約農家システムの構築は (5) 県の公務員の副業許可制の導入は	村長 担当所属長
	4 音楽のちから（魅力ある村づくり）について	(1) 音楽活動を通じて自己表現力を育むことの意義をどのように捉えているか	村長 担当所属長

		<p>(2) 学校の部活動（合唱部）、またはスポーツの文化活動として『少年少女合唱団』を設立する可能性について村の見解は</p> <p>(3) 『榛東音頭』の活用は</p> <p>(4) 役場庁舎内のBGM放送の導入の考えは</p>	
	5 夜間侵入等の犯罪発生に対する防犯体制の強化について	<p>(1) 現状の把握と対応は</p> <p>(2) 犯罪抑止につながる具体的な取り組みは</p> <p>(3) 警察との連携を強化し、地域ぐるみで防犯意識を高めていくために村としての支援や啓発活動をどのように行っていくか</p>	担当所属長
4 一倉靖子議員	1 人口減少対策について	<p>(1) 若者離れがあると思うが、それについての考えは</p> <p>(2) 地域おこし協力隊等の村の対応について</p> <p>(3) 資金不足等で事業を断念しないような対策をしているか</p>	担当所属長
	2 奨学金制度について	(1) 経済的理由等で進学等を諦めなくてはならない子どもたちのための対策は	担当所属長
	3 熱中症対策について	(1) 子どもたち（小学生）の登下校の対策は	担当所属長
5 三俣実議員	1 各自治会のごみステーションについて	<p>(1) 榛東村の廃棄物の処理及び清掃に関する条例では、家庭ごみの排出、収集、処理における住民、自治会並びに村の責任はどのように定められているのか</p> <p>(2) ごみステーションの設置及び維持管理は現在自治会が行っているが、条例上は自治会の責務なのか。それとも村が設置すべきものと考えるか</p> <p>(3) 自治会に加入していない世帯のごみ出しについて、村ではどのように対応しているか</p> <p>(4) 今後のごみ収集体制やごみステーション</p>	担当所属長
			担当所属長

		ンの在り方について、村としてどのように考えているか	
	2 環境美化推進協議会について	(1) 榛東村環境美化推進協議会規約では事務局を住民生活課内に置くとされているが、設置の目的及び村の関与の在り方はどのようなものか (2) 環境美化推進協議会の自主性を確保しつつ、村との連携を円滑に進めるための体制や事務局の在り方について今後どのように考えるか	担当所属長 担当所属長
6 須田仁美議員	1 公共施設整備の進め方について	(1) 新しい施設の整備にあたっては、旧施設の解体や跡地利用も含めた長期的な見通しを持つことが、財政や安全管理の面でも重要と考えるが、今後、こうしたトータルな計画を立てて進める考えはあるか (2) 建物の引き渡しから供用開始までの間に外構工事などで間隔が空く事例が見られるが、こうした工程上の課題を庁内で検証し、今後の事業計画づくりに活かす体制を検討しているか、またはしていく予定か	村長または副村長
	2 学校給食における飲み物の選択制とアレルギー・文化的配慮について	(1) 学校給食では牛乳が基本とされてきたが、体質的に合わない子どもや宗教・文化的な理由で控える家庭もある。牛乳を基本としつつ、お茶や水などを選べる選択制の導入について、保護者アンケートや実態調査などを通じて家庭の意見を把握する考えはあるか (2) 牛乳を提供しない場合、栄養価の確保やコスト面でどのような課題があるか。また、全国の先進事例を参考しながら、アレルギーや文化的背景への配慮も含め、今後どのように調査・研究を進めていく考えか	担当所属長
	3 発達特性に応じた支援	(1) 支援学級および通常学級における支援	教育長または

と、学校・家庭・福祉の連携強化について	<p>体制について</p> <p>① 発達障害や学習障害（LD）など、特性に応じた学びの支援や合理的配慮はどのように行われているか</p> <p>② 支援学級や通常学級における体験的な学習や、子どもの興味・関心を生かした支援の工夫はあるか</p> <p>③ 中学校以降の生活自立や社会参加を見据えた支援体制は</p> <p>④ 日本の学校制度では、学習の到達度にかかわらず進級していく仕組みであるが、学習の理解が追いつかないまま進級してしまう子どももいる中で、学校としてどのような支援を行うことが大切と考えているか</p> <p>(2) 感覚の過敏さや繊細さ（HSP的傾向）への理解と対応について</p> <p>① 音や光、人との関わりなどに敏感な子どもに対して、学校としてどのような理解や配慮がされているか</p> <p>② こうした繊細な特性への理解を深めるための教職員研修や情報共有は行われているか</p> <p>③ 不登校等の背景に、感覚過敏や共感疲労が関係している場合、その原因や状況をどのようにとらえ、どのように合理的配慮や支援につなげて行くか</p> <p>(3) 教育・福祉・家庭の連携と支援体制について</p> <p>① 学校、家庭、福祉、相談支援機関（放課後等デイサービス・訪問支援事業等）、県の発達障害支援センターとの連携はどのように行われているか</p> <p>② 発達特性が多様化する中で、一人ひとりに合った支援を充実させていくために、どのように合理的配慮の取組を考えているか</p> <p>③ 教員や支援員を含めた研修体制の充実をどのように図っていくか</p>	担当所属長
---------------------	--	-------

	4 情報セキュリティ対策とサイバー防災訓練の実施について	(1) 全国で自治体へのサイバー攻撃や情報漏えいが相次ぐ中、村の情報セキュリティ対策について、サイバー攻撃を想定した訓練や職員研修を実施しているか (2) 令和6年度から総務省が推奨する自治体CSIRTの設置について ① 村単独での設置は難しい面もあるが、県が進める自治体情報セキュリティクラウドや、市町村間での共同体制など、広域的な連携の中でどのように機能を担っていく考えか。 ② 県内ではみどり市などの取組もあるが、こうした事例をどのように参考にしているか (3) 万が一情報漏えいなどの事故が発生した場合に備え、対応手順や公表基準を定めたガイドラインの整備をどのように進めているか	担当所属長	
7	中島由美子議員	1 消防団運営と消火器有用性など、村民愛について	(1) 渋川広域南分署前の信号機設置するため、一つ高崎側の南下丸山信号機の移設の可能性について (2) 榛東村消防団報酬支払方法の変更と消防団の団員意識醸成について、先ごろ建物火災があり、消火器の使用の有無がその後の消火活動に影響したのではと考える。年1～2回火災予防期間に分団ごとにその地域の人が入れ替える消火器を用いての住民連携の事業を立ち上げて、その委託費を出し、分団の運営費に充てることはできないか。（消火器の有用性の伝播と団運営費の捻出） (3) エンジョイしんとうのしつらえは大変良かったが、開会式のありかたについて、エンジョイはまずは村民がエンジョイするのではないか。政治的パフォーマンスの場になっており、二元代表制の議会と参加団体がないがしろになっているのは	担当所属長

2 業者への発注とその工事費支払いの透明性と入札の公正性の担保について	<p>(1) 令和5年度榛東村防災中枢機能施設整備事業建築工事（榛東村学校給食センターについて）で榛東村防災中枢機能施設外構工事費が一部不要となり、減額契約が上程され可決となった。工事費の正しい額、公正性はどのように証明できるのか。村長が広報しんとうコラムで述べられた公共工事の透明性を徹底するためにも明確な積算根拠を示して説明を</p> <p>(2) 榛東村第3区コミュニティ共用施設改修工事は、令和7年7月執行指名競争入札が行われ、執行結果を見ると、最低価格制限とあり最低価格の業者が落札できていない。現在、最低価格は公表されていないが、価格設定は村長がされている。他社の入札価格を見てもこんな10万円単位の違いで落札できない村内業者があり、村民から「なんらかの不正が無いといいけどの声」が寄せられている。吉岡町では議員の倫理条例で一親等の親族が役員をしている企業は、工事等の請負等の契約は辞退すると定められています。これこそ村長の言う透明性の徹底だと思いますが、どのようにお考えですか</p>	村長
3 多様な子育て・村民支援と財源確保について	<p>(1) 役場庁舎周辺の土手の除草などが平成21年9月の新庁舎建設より毎年行われて、約400万円が支払われている。最初は、シルバー人材センターへの仕事提供で応援的な意味合いがありましたが、現在は、業者へ発注されている。16年分を考えると3千万円を超えて支出された。経費削減につながる、ムカデ芝など、費用が少しでも縮減できると考えるが検討していただき、その結果の説明を</p> <p>(2) 南村政における子育て支援として、多様な子育て支援の一つとして、無料で指導員の先生が遊び場の指導してきた児童館が間もなく閉鎖される。その代替となる児童福祉法に規定される施設を設置さ</p>	<p>担当所属長</p> <p>村長</p>

		<p>れるお考えはありますか</p> <p>(3) 平成8年4月施行のサイバーセキュリティ基本法施行に伴う榛東村が定めなければならないサイバーセキュリティの確保の方針策定の状況とその効果について</p>	担当所属長
8 柳岡利精議員	1 村民サービスについて	<p>(1) しんとぴあ（新公民館）の利用が進む中で、上がってくる住民の声をどのように収集・分析し、施設の運営改善へ反映させるか</p> <p>(2) プラスチックごみの回収状況ならびに回収回数について、今後の取組は</p>	担当所属長
	2 学校教育でのA I活用について	<p>(1) 児童の学習および教員の負担軽減におけるA I活用の方針は</p>	担当所属長
	3 榛東村のD X推進について	<p>(1) 村が推し進めるD X推進（村民サービス、幼稚園や小中学校の校務、榛東村役場職員作業など）の具体的な進捗状況と今後のロードマップは</p> <p>(2) D Xを推進するための人材育成（職員研修、外部専門家の活用など）の現状と今後の計画は</p>	担当所属長
	4 シビックプライド®について	<p>(1) 村としてシビックプライド®（当事者意識に基づく誇り）の現状の課題をどのように捉え、これまでどのような取組を行ってきたか</p> <p>(2) 住民の榛東村への愛着と誇りを高め、具体的な施策（例：広報啓発、教育連携、住民参加型イベントなど）および、その全庁的な推進体制は</p>	担当所属長